

教育予算の充実を図ります。

平成30年度税制改正で実現した**地方消費税清算基準の見直し**により、平成30年度予算で**36億7千万円の増収**(うち18億4千万円は市町村に交付)になりました。その増収分を教育予算の充実という形で**県民の皆様**に還元します。

平成30年度の主な取組

関連予算 H30:2,126百万円(H29:1,517百万円)

県の取組

- **全ての県立高校で空調設備の設置**を実現
 - ・県立高校の空調設備を整備
 - ・(新)育友会等設置分の運転費用を県で負担
- **県立高校の耐震化**を速やかに実施
 - ・耐震補強を平成33(2021)年度を目処に完了
 - ・(新)耐震補強が難しい校舎等の改築に着手
- **私立高校等授業料**に対する支援の拡充
 - ・私立高校等の授業料に対する支援について、本県の実情を踏まえ拡充



空調設備設置教室での授業の様子

市町村の取組

- 市町村立小中学校の空調設備の整備、老朽化に伴う大規模改修、トイレ改修等



県が市町村振興資金の貸付により後押し



耐震化の完了した校舎

県立大学の教育環境を充実強化します。

地域課題に主体的に取り組む人材や国際社会で活躍する人材の育成、**奈良県の観光産業を担う専門人材**の育成を推進するなど、奈良県立大学における教育改革を加速します。

平成30年度の主な取組

関連予算 H30:735百万円[債務負担行為1,080百万円]
(H29:378百万円)

- 国内外における「フィールドワーク」先を充実させ、地域課題に主体的に取り組む人材を育成
- 欧米系海外大学等交換留学協定先の更なる開拓により、国際社会で活躍する人材を育成
- 「対話型少人数教育(コモンズ制)」を推進するとともに、拠点となる「コモンズ棟」等を整備
- 奈良県の観光産業を担う専門人材の育成を推進
 - ・実践的なカリキュラムを検討
 - ・社会人が大学で学び直すための「フレックスコース(仮称)」の設置を準備 等

【施設整備基本計画に基づく整備イメージ】

